

## 26年度事業報告書

本県の抱える少子・超高齢化社会や人口減少などの諸問題が進む中において、医療や福祉の充実サービスに関する関心やニーズはますます高まっている。本校の使命である、「地域社会に貢献できる医療人の育成」に、役職員が一体となり取り組んだ。

本校が移転した現在のキャンパスは、県内外の高等学校関係者らにも知名度は徐々に定着はしてきたものの、27年度入学志願者は前年度よりやや微増であり大きく回復したとは言えない。今後も入学生の獲得に向け、計画的に予算配分し最大の効果を求め精力的に取り組む必要性を痛感している。

平成26年度においては、学生たちが安心して学べる環境の整備拡充を行なった。

また、生活面のスキル向上や社会性を育む教育活動も取り入れ、モラル研修や防災研修訓練等も実施し、教職員と学生らと協調した日常からの安全確保の意識向上を図った。

本校法人は、将来構想を明確化し役職員が一体となり、示す方向に向け取り組む事が重要である。あらゆる角度から検討を重ね、安定した学校法人を目ざし、業界の動向を注視し情報を収集し、関係機関と連携協調し取り組んだ。

### 計画に対する実績と検証

#### 【法人部門】

- 将来計画の検討ならびに、関係機関への働きかけ
- 財務基盤の検証による、安定した収支バランス維持確保
- 教育環境の整備充実(事務局職員充足)

#### 【教育事業】

##### 1、教育環境の整備充実

入試要項の見直しをおこない、県内外の高等学校への教職員による積極的な訪問、ガイダンス(学校説明会)への参画を通じ、本校の学生生活の様子など紹介伝達に取り組んだ。

オープンキャンパス(5回/年)を開催し、前年度より多くの参加者を本校に迎え入れた。また、高等学校からの視察見学として来校も受け入れ、高知市中心部に近い本校の立地・利便性や教育設備・環境をPRし、高校関係者や志望生徒・保護者からも高い評価を受けた。入学者数は両学科とも定員を充足することができたが、県外高校や社会人の志願者が減少し、今後はその原因を捉え募集戦略を検討することが重要である。

先進医療機器の導入整備を計画的に進め、学生が実習中においても一定の知識を持てるよう、また、教員の研究や卒業論文の拡充のため教育什器備品の整備に努めた。さらに、構築物全般の修繕や各教室の環境整備、機器更新を計画的に行ない、学生らが満足し学べる環境整備に努めた。

地域貢献の取組みの一貫として、公開講座や地域住民を学校に招きリハビリテーション体験などの機会を設け、「かんきつ祭」においては防災講演会を開催し多くの近隣住民らとともに、防災・安全の意識の高揚に努めた。

## 2、適正管財管理と安定した財政基盤の確立

本校施設の多額の費用を要する設備や改修工事は一定終え、しかし随所に予期しない補修等も発生し、築20年を経過している構築物は随時修繕箇所の早期発見による補修修繕を実施し、経費縮減に取り組んだ。特に、夏季には数回の台風襲来により、グラウンド防球ネットや門扉の倒壊などの被害もあり、その都度臨時休校措置など学生らの安全確保に努めた。

取引金融機関と緊密な信頼関係を構築し、自己資本の増強、経営基盤の強化に努めた。また、景気回復と円安株高を追い風に永年保有してきた資産株式については、本年度区切りとし売却処分し、その益については次年度以降の執行部の経営判断に委ねる事とした。

## 3、学生支援体制の強化充実

### 【学習】

留年生や退学者を発生させないためも、学生の学ぶ意欲を高める取り組みに努めた。新入生は、専門教育を学ぶうえで必要な基礎学力の復習の機会を設け、専任教員による学習支援体制を整え学習サポートを実施した。また、少人数を対象に教員がそれぞれのテーマにより、学習支援を実践した。毎月開催する教授会において、情報や問題の共有化、連絡調整、危機管理対策について協議し、教務部(各学科)・事務局・学生支援室ともに部署会議を実施し、諸問題に対処した。国家試験への取組み対策として、4年生と科目履修生を対象に教職員が一体的に協力し、年末より休祭日も学校教室を開放して精力的に支援を行なった。その結果、合格率は昨年度に続き成果を出す事が出来た。

### 【就職】

求人募集は、理学・作業療法学科ともに県内外から前年を超える多くの求人募集があり、就職セミナーも再三にわたり実施した。また、9月に開催した就職説明会には県内外の施設から多くの募集要請があり、学生は希望する就職先の担当者との貴重な面談の機会を持ち、卒業生は希望する病院や施設への就職が達成出来た。

## 4、施設整備ならびに安全対策

デマンド監視により日々の消費電力需要を監視するとともに、事務所での集中管理により契約料金の削減に取り組んだ。

交通安全規範の啓発、高知東警察署・高知市防災対策課・警備会社合同による津波避難訓練実施、各講習会を開催し学内の安全対策を講じた。

- |                           |             |
|---------------------------|-------------|
| ○個人情報取り扱い、セキュリティー講習、モラル講習 | 全学年         |
| ○南海トラフ地震に備えて対策研修          | 教職員         |
| ○南海地震に備える                 | 学生、教職員、地区住民 |
| ○地震、津波防災避難訓練              | 学生、教職員      |

## 5、地域貢献

学生の体験学習も兼ね、地域(大津地区)におけるリハビリ講習や、従前からの香南市スポーツクラブ事業支援、山北地区「いきいき体操」サークルへの指導など積極的におこなった。

また、地域住民に学校開放し「リハビリ体験セミナー」を開催し、多くのお年寄りや若者

が参加し有意義な時間を過ごし好評を得た。

## 6、学術発表と研究への取り組み

教員が様々な学会(四国・全国・国際:アジア学会)において、研究発表、学術論文の発表に積極的に取り組んだ。作業療法学科(畑田学科長)が、高知新聞・高知放送「生命の基金」助成を受賞した。

## 7、学校評価(学生・保護者)の実施

学校評価アンケートを実施し、保護者や学生からの率直な評価を聞き取ることにより、今後の学校運営や授業方法の改善や学生対応について検証し、問題点の改善に取り組み結果については、ホームページにて公表した。